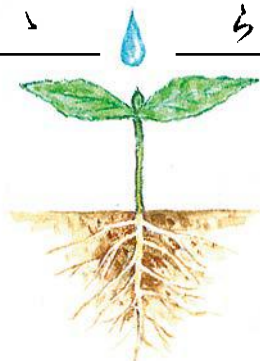


内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 42 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院
産科 婦人科

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

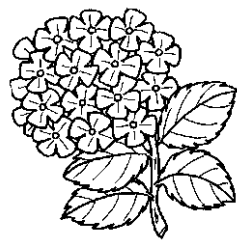
発行日：2003年6月5日(木)

発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよさ(42)

便秘 I



新緑の燃え出する美しさに生命の息吹を感じるこの頃です。

五月、日本東洋医学会総会(福岡)で産婦人科のセッションの座長を務めた際、ふとしたことから、漢方薬を正確に処方することから、漢方学会で新たな発見をすることは多く、皆様の悩みをもっともつと解決できるようにします。

また、大宰府天満宮では、樹齢千五百年と言われる「楠木」の太木に出会うことができました。太い幹とそれを支える巨大な根、初めて大宰府に遠の朝廷が建設された頃から、大宰府の歩みを見守り、これからも見守り続けていくであろう長命な圧倒的生命力に感動しました。

今月は便秘についてお話しします。体力のある方、虚弱な方、暑がりの方、寒がりの方、体に潤いのあ

る方、潤いの減った方、うつ傾向の方、過敏な方などの違いを考え、漢方薬を選択します。特に、漢方薬が有利な場合は、お腹は脹つてもお腹の筋肉が軟らかい方、四く五日ぶりに便通があっても軟便の方、手術後や癒着のために便通が悪い方、高齢、慢性肝炎や喘息などの病気が長引いて便通が悪い方、寝汗をかいて便秘の方、神経が過敏で便秘の方、生理痛や月経過多で便秘の方などです。



大宰府天満宮の「楠木の太木」

では、実例を挙げましょう。

三六歳女性、便秘(便通は一週間に一度)、のぼせ、イライラ、不眠、腰痛を訴え来院。顔は赤黒い。お腹は硬く、両側腹直筋緊張、両側肋骨下に抵抗圧痛、心下部と両側臍傍に圧痛。脈は緊張して太く、舌は紅紫色、厚い黄苔、舌下静脈の怒張。血圧は一八〇/一〇〇。大柴胡湯、通導散、三黄瀉心湯、サフランを処方。二週間後、便秘はなくなった。六ヶ月後、血圧一三〇/八五。継続していると体調がよい。

六三歳女性、十五年前、胆石の手術。お腹の張り、便秘(五く八日毎に排便)、突然の動悸と不安感を訴えて来院。顔は青白い。お腹は膨満、よくゴロゴロと鳴る。

両側臍傍に圧痛。脈は細く沈み、速い。舌は淡紅色、薄い黄苔。そこで、大建中湯、小建中湯、附子を処方。一ヶ月後、太い便になり、便通は一く三日になる。不安な時は、抗不安剤を服用。一年後はほぼ治癒。五年後の現在は、時々



漢方薬を服用。

三歳男児、アトピー性皮膚炎、ア

レルギー性鼻炎で来院。風邪をよく引き、痩せている。顔は青黒く、眼球周囲にジクジクした紅斑、両耳裏部にジクジクした湿疹、腹は硬く、心下部で両側腹直筋が緊張、下腹部は柔らかく、臍の上下で動悸を触れ、お腹と背中に乾燥した紅斑と引っつき傷が多数見られた。脈は弦、舌は淡紅色、薄い白苔。そこで、紫胡清肝湯、小建中湯、紫雲膏と太乙膏、鼻炎のきつい時のために小青竜湯を処方。一ヶ月後、皮膚炎の赤みが少し減った。六ヶ月後、お腹と背中の傷が減った。一年後、皮膚の赤みは消え、やや黒っぽい乾燥肌になった。そこで、小建中湯、紫雲膏を処方。三年後、痒み、さめ肌がなくなつて廃薬。四年後、再発していない。

した。その後、胃腸や腰の力をつけるため、補中益気湯を継続している。

二二歳女性、むくみ 冷え、便秘、生理痛で来院。顔は青白い。お腹は軟らかく、心下部でジャブジャブと言う音がする。両側臍傍に抵抗と圧痛がある。脈は沈んで細い。舌は淡紅紫色、薄い白苔、舌下静脈の怒張。当帰芍薬散、大黃、附子を処方。一ヶ月後から次第にむくみが減り始め、一年後、むくみが消失した。服薬していると調子がよいので継続中。

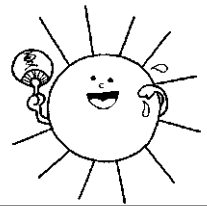
二二歳女性、妊娠一四週、疲れ、寝不足、気温が高いと頭痛がする。昨日から、頭痛、嘔吐、めまい、顔面のむくみで苦しんでいる。今日も治らない。顔は赤い。腹は軟らかく、心下部に軽い抵抗があり、ジャブジャブと言う音がする。臍上下悸が認められた。脈は浮。舌は淡紅色、乾薄黄苔。そこで、五苓散を処方。その日のうちに、頭痛はなくなった。その後、五苓散を毎日服用して再発なく、産後三ヶ月まで服用して中止。今回は、脾についてです。



〔院長〕

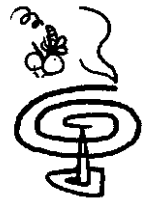
アトピー性皮膚炎

“こころ”と“からだ”と“環境”に影響を受けます。不満や心配をなくし、環境を整え（ダニ、カビ、湿度・・・）、乾燥肌（表皮はカサカサ、皮下はジクジクして熱がこもる）をよくするため、漢方薬（内服、外用）を中心に、一部ステロイド剤なども併用することがあります。



腰痛症

脊椎、靱帯や筋肉（脊髄腫瘍、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎、圧迫骨折など）、内臓疾患（腎盂炎、子宮内膜症、子宮下垂、子宮付属器炎など）、心理的要素（うつ病、心身症など）などが原因になります。漢方薬や鍼もよい適応になります。



むくみ

うつ血性心不全、腎機能障害、肝硬変、甲状腺機能低下症、血栓性静脈炎、妊娠中毒症、月経前緊張症（イライラ、不眠、浮腫）、原因不明の浮腫（突発性浮腫）などがあります。

治療には、漢方薬も大いに利用できます。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：**錠剤タイプ**の漢方薬と**顆粒タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：**良質の生薬**を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫で保管**して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、尋麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、陰分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定 (4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き**処置の欄**にチェックして下さい。

皮内針、針管付き鍼

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は3.0mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク ・メシマコブ

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～72回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、**居宅療養のお手伝いをする制度**です。
費用は1割の負担になります。
介護保険に制約されません。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火) 午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：6月6日、7月4日、8月22日(金)
 9月5日、10月3日、11月7日(金)

対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：6月18日、7月2日、16日、8月6日、20日、
 9月10日、24日、10月8日、22日(休)

対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

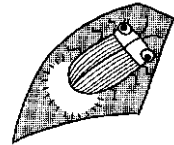
ベルリーナ(Berliner)は、ドーナツの原形で、歴史は古く、
 キリスト教の祭事に作られました。

シャルロット・フリユイ(Charlotte fruit)はサワッとした
 ビスキュイとババロアの食感を初夏のフルーツと一緒に
 味わってください。



妊 娠 中 の 腰 痛

高血圧症、風邪、肩こり(首のこり)、胃腸障害、脳腫瘍などを
 診察することが大切です。診察(問診、腹診、脈診、舌診)、検査
 (超音波、尿、血液、血圧など)をして診断します。
 大部分の方は、漢方や針などでよくなります



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、できるだけ
 早く受付で予約して下さい。

分娩予約カードと予約金5万円が必要です。
 予約された方に、母と子のてびきをお渡します。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分で対応します(無料)。

日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

立会い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。

日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

Dr.ウッキーの悩み相談をご利用下さい。

診察時間、診察内容、料金、(診察と薬、お産、中絶)
 のことはホームページをご覧ください。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メ
 ニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

当院の漢方治療や産婦人科治療、お部屋、食事
 母親教室、駐車場、当院への交通などの情報。
 問合せはメールをご利用下さい。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。